

■エンボス **ピロイ+サイラムザ+アブラキサン療法【30分】(Day1,15)**

【外科】-1,15【胃癌】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/		
ピロイ	↓	休薬	↓	休薬	
サイラムザ	↓	休薬	↓	休薬	
アブラキサン	↓	↓	↓	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順		
①		インラインフィルター付きルート (品番:JP-PFP321F7)を使用 アロカリス注235mg 1V パロノセロン注0.75mg 1V デキサート注1.65mg 2A デキサート注6.6mg 1V ポララミン注5mg 1A 生食 100mL 30分
②		生食 50mL 10分
③		●ピロイ注()mg 注射用水 mL 生食 mL (total 500mL) 投与速度は「■注意事項」参照
④		ポララミン注5mg 1A 生食 50mL 10分
⑤		●サイラムザ()mg 生食 250mL 30分
※⑥		生食 250mL 1時間30分
※⑥		インラインフィルターは使用しない デキサート注6.6mg 1V 生食 100mL 30分
⑦		生食 50mL 10分
⑧		●アブラキサン()mg 生食 50mL 30分
⑨		生食 50mL 10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
ピロイ	400 mg/m ²	mg/Body
サイラムザ	8 mg/kg	mg/Body
アブラキサン	100 mg/m ²	mg/Body

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 主管点滴ルートは、インラインフィルター付きルート(品番:JP-PFP321F7)を使用すること。
側管投与の薬剤はインラインフィルター下部のコネクターに接続して投与すること。
 - アブラキサンは特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)の為、「血漿分画製剤の使用に関する同意書」を取得すること。また、投与終了後は「特定生物由来薬品実施確認表」を薬剤部へ返却すること(20年保管)。
 - サイラムザは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は30分間で行っても良い。
 - ピロイは調製後12時間以内に投与終了すること。
- 《ピロイの投与速度》
- 投与開始の30分間は100mL/hrで投与し、忍容性が良好な場合に投与速度を上げる。
100mL/hrで開始 ⇒ 30分後200~250mL/hrへ(速度変更後は約2時間かけて投与すること)
 - Grade2以上の悪心・嘔吐が発現した場合は30分間投与を中断し、回復後、流速を半分の速度に落として再開でき

○デカドロン錠8mg(内服オーダ)はday2,3,4,16,17,18に投与する。

○糖尿病でないことを確認し、必要に応じてジプレキサ錠5mg(内服オーダ)をday1,2,3,4,15,16,17,18に投与する。